

社会科学習指導案

日 時

場 所

生 徒

指 導 者

1. 単元名「第5章 開国と近代日本の歩み」 3節 明治維新

2. 単元の目標

- 近代国家をめざすために行った政策から、人々の生活にどのような変化が生じたのか理解させる。
- 明治維新の諸改革の目的について、様々な事象を関連付けながらどのような目的があったのか多面的・多角的に考察し表現させる。
- 明治維新と近代国家を形成していく中での国際社会との関りから、現代まで続く課題について整理し、その課題に対してどのように関わって行くべきか追究する態度を養わせる。

3. 単元について、生徒の実態

(1)教材観

本単元は、中学校社会科歴史的分野の学習指導要領において、「C 近現代の日本と世界」に位置付けられたものである。特に、「領土の画定」においては、ロシアとの領土の画定をはじめ、琉球の問題や北海道の開拓について扱うこととなっており、北方領土が一貫して我が国の領土として国境設定がなされたことについて触れる。また、竹島や尖閣諸島についても同様に、我が国の立場が歴史的にも国際法上も正当であることを理解する必要がある。

(2)指導観

北方領土については、1年次の地理的分野の中で学習をしている。また、総合的な学習の中で、北方少年少女塾に参加し、学んだ事をレポートに作成する学習を通して、北方領土問題に対して知識と理解を深めてきた。

本時では、北方少年少女塾に参加してから1年が過ぎ、その間、国際情勢が複雑化していく中で、改めて私たちはどのようにこの問題に関わることができるのか多面的・多角的に考察し、主体的に問題と向き合い続ける態度を養わせたい。その際、暴力や戦争に頼らず、いかに平和的解決ができるかどうかという視点は持ち続けなければならないことを留意する。

(3)生徒の実態

本学級はとても学習意欲が高く、基礎的・基本的な知識が定着している。北方四島の位置と名称についても、ほとんど正確に覚えていることはチャレンジテストの結果からも見てとれる。また、1年生の時に北方少年少女塾に参加し、北方領土問題について学習したことや自分の考察をレポートにまとめる活動を行ったため、北方領土の問題に対しても関心が高い。

本時では、歴史的事実や新聞記事などから物事を客観的に捉え、北方領土問題について考察し、多様な意見を交流し合いたい。また、一人ひとりが自分事として北方領土問題と向き合うことで、道東に住む一人の人間として、北方領土問題に向き合い続けなければならないという態度を養えるように支援を行っていきたい。

4. 評価の観点と規準

(ア) 知識・技能	(イ) 思考・判断・表現	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・富国強兵、殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が変化したことを理解している。 ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲国家が成立して議会政治が始まり、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新の諸改革の目的について、議会政治や外交の展開などに着目し、事象を相互に関連付けながら説明している。 ・明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、現代にまで残る課題を主体的に追究し解決しようとしている。

5. 指導計画

第1節 欧米における近代化の進展（5時間）

第2節 欧米の進出と日本の開国（4時間）

第3節 明治維新（10時間）【本時8/10】

第4節 日清・日露戦争と近代産業（6時間）

時間	学習活動	評価規準
1	○新政府の成立 ・新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。	・新政府が成立し、近代国家の基礎が整えられていったことを理解している。 - (ア)
2	○明治維新の三大改革① ・新政府が行った学制・兵制・税制の改革の内容を理解する。	・学制・兵制・税制の改革の内容を理解している。 - (ア)
3	○明治維新の三大改革② ・明治維新の三大改革が人々の生活に及ぼした影響について考察し表現する。	・新政府が行った学制・兵制・税制の改革の影響を、江戸時代の制度と比較しながら考察し、最も重要な改革はどれか自分の考えを表現している。 - (イ)
4	○富国強兵と文明開化 ・新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の内容を理解する。 ・文明開化の風潮について、社会の様子や人々の生活が大きく変化したことを考察し表現する。	・文明開化の風潮について、社会の様子や人々の生活が大きく変化したことを、江戸時代と比較しながら理解している。 - (ア) ・文明開化によって、人々の生活はどのように変化したのか江戸時代と比較しながら考察し表現している。 - (イ)
5	○近代的な国際関係 ・明治初期の外交政策について、岩倉使節団の成果から、征韓論が通らなかった理由を考察し表現している。	・岩倉使節団の派遣ののち、西郷隆盛や板垣退助が政界から去った理由を考察し表現している。 - (イ)
6	○国境と領土の確定 ・近代国家を目指すうえで、領土の確定が必要であったことを理解する。	・領土の確定について、新政府が行った外交政策を理解している。 - (ア)
7	○領土をめぐる問題の背景① ・竹島と尖閣諸島が我が国の国有の領土になった時期や経緯と、日本政府の見解を理解する。	・竹島と尖閣諸島の領有の歴史的な経緯と日本政府の見解について理解している。 - (ア)
8 本時	○領土をめぐる問題の背景② ・複雑化する国際情勢をふまえ、北方領土問題の解決に向けて、たゆまぬ努力を続けていく態度を養う。	・北方領土問題の解決に向け、私たちにできることは何か考え、実行しようとする態度を有している。 - (ウ)
9	○自由民権運動の高まり ・自由民権運動が始まった経緯から、どのような社会の実現を求めていたのか理解する。	・自由民権運動から憲法制定に至るまでの時期について、民権派と政府側の立場の主張を理解している。 - (ア)
10	○立憲制国家の成立 ・大日本帝国憲法の内容の特徴を理解する。 ・議会政治が始まったことの歴史的意義や、現代の政治とのつながりを考察し表現する。	・憲法の制定過程とその内容の特徴、選挙制度などを理解している。 - (ア) ・大日本帝国憲法の制定過程とその内容の特色をふまえ、その特色と現代とのつながりを考察し表現している。 - (イ)

6. 本時の目標

現在の国際情勢の中で、私たちはどのように北方領土問題に関わることができるか。

7. 本時の展開 (8 / 10)

時配	学習活動 (○)	教師の手立て (□) 留意点 (◇) 評価(☆)
導入 4分	<p>○最近の北方領土に関するニュースを確認する。</p> <p>○本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>現在の国際情勢の中で、私たちはどのように北方領土問題に向き合っていくべきか</p> </div>	<p>◇ビザなし交流のロシア側の一方的な破棄について記事を示し、何が起きているのか説明する。</p> <p>◇昨年作成したレポートを確認し、元島民の方は、解決策に戦争を望んでいないことを確認する。</p>
展開 1 10分	<p>ビザなし交流の一方的な破棄について考える。</p> <p>発問 1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ロシアの行動についてみなさんはどんな気持ちになりましたか。</p> </div> <p>発問 2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ロシアの行動について元島民の方々はどんな気持ちだろうか。</p> </div> <p>予想される生徒の反応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの努力が無駄になった。 ・もう故郷に帰ることができないのか。 ・なんでこんなことになったの。 </div> <p>○新聞記事から元島民の気持ちを読み取る。</p> <p>発問 3</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ロシアの行動について、ロシア島民の方々はどんな気持ちだろうか。</p> </div> <p>予想される生徒の反応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・仕方がないことなのではないか。 ・日本がいけないと思う。 ・とても残念なことだ。 </div> <p>○新聞記事からロシア島民の方々の気持ちを読み取る。</p>	<p>□ワークシートを配る。</p> <p>◇北方青少年少女塾に参加した経験から、「暴力的な解決策」は適切ではないことに注意しながら学習を進めていく。</p> <p>□発問 2 の後、2022 年 9 月 7 日の北海道新聞の記事を配る。</p> <p>◇見てほしい部分には線を引いておく。</p> <p>◇見てほしい部分には線を引いておく。</p> <p>◇新聞の記事から、今回の破棄について肯定的な意見、否定的な意見をもつロシア島民が両者いることに気付かせる。</p>
展開 2 30分	<p style="text-align: center;">北方領土問題に対し、 どのように関わっていくべきかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【主発問】 根室の地域に住む一人の人間として、今後、どのように関わっていくべきだろうか。</p> </div> <p>①個人活動 (6分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>KPT 法に、自分の考えをまとめましょう。</p> </div> <p>②グループ活動</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>グループになって意見を交換し、新たに KPT 法にまとめましょう。</p> </div> <p>③全体交流 (4分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>グループごとの意見を交流しましょう。</p> </div>	<p>◇「私 (たち)」「元島民」「ロシア島民」の三者のそれぞれの立場をふまえ、考えさせる。</p> <p>□KPT 法の説明を行う。また、現時点での疑問点があれば記入を促す。</p> <p>□模造紙を配布し、2～3 グループに分け活動を行う。</p> <p>□グループで交流した内容をまとめ、記入させる。</p> <p>☆【主】グループでの活動を通し、北方領土問題に対する関心を高めている。(話し合い)</p> <p>◇T (挑戦すること) の部分を達成するためには何が必要か考え、新たな課題があれば議論させる。</p> <p>□グループごとに話し合った内容を発表させる。</p>

終末 6分	<p style="text-align: center;">本時のまとめを行う。</p> <p>○ワークシートに自分の考えをまとめる。 ※時間があれば発表を行う。</p> <p>○ワークシートの提出を行う。</p>	<p>☆【主】今後の私たちの関わり方について、自分の考えを記入している。(ワークシート)</p> <p>評価基準</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>C: 今回の感想を書いている。</p> <p>B: 今後の関わり方について、何か1つでも記入している。</p> <p>A: 三者の立場から考えたことをまとめ、今後の関わり方について具体的に記入している。</p> </div> <p>◇本時の課題から、感想だけでは不十分であることを確認させる。</p>
----------	---	--

8. 本時の板書計画 (ワークシート)

本時の課題

現在の国際情勢の中で、私たちはどのように北方領土問題に向き合っていくべきか

【自分の気持ち】	【元島民の気持ち】	【ロシア島民の気持ち】
-----------------	------------------	--------------------

【Keep (続けるべきこと)】	【Try(挑戦するべきこと)】
【Problem(問題点)】	

まとめ

氏名：